

永田衡吉

（幼名）
（本名）

劇作家、藝能史家、文學博士。明治二十八年十一月

二十日和歌山縣生れ、平成二年一月二十七日没（八九二—九九〇）。大正

六年早稲田大學文學部英文科卒。昭和二年小寺融吉、柳田國男等と民

俗藝術の會を興し機關誌『民俗藝術』創刊、五年七八世尾上菊五郎の自

本俳優學校創立に參劃。神奈川縣文化財専門委員。

著書、戯曲集『雁台皇子』（大正十四年五月十日回紅社）、同『平家

記』（昭和十一年四月十日河出書房）、『國民娛樂脚本集—素人の出

來る芝居の本・第一輯』（合著、昭和十五年一月二十一日國民精神總

動員中央聯盟編輯）、『故中村吉藏博士追悼集』（合著、昭和十七年

五月一日小林政治編輯）、中村吉藏著『現代演劇論』

（印南高一
初田義朗共編
大山功

昭和十七年十一月二十日豐國社『早稲田演劇協會演劇叢書』（『林

子平』（昭和十八年一月八日大日本雄辯會講談社）等。

